



さくらんぼぐみだより

令和5年11月22日

風の冷たさに秋の終わりを感じます。入園時にハイハイをしていた子どもたちが行きたいところまで歩いたり、まだ寝返りをしなかった子どもが一人で座って遊んだりハイハイをして好きなところへ嬉しそうに行くようになりました。

最近では「お片付けしよう」の言葉掛けに箱の中へ次々と上手におもちゃを入れるようになりました。「上手におかたづけできたね」と褒めると自分で頭をなでる姿があり、おうちでも褒めてもらっているのかなと感じます。子どもたちの日々の成長を感じ、胸がいっぱいです。残りの後半期も保護者のみなさまと共に子どもたちの発達過程を大切に見守っていきたいと思います。



天気の良い日はお散歩に出かけたり、お外遊びをしたりしています。「お外いこう！」と声を掛けると元気いっぱいにお部屋を出る子どもたち。保育者に靴を履かせてもらうと歩き出す姿は、とてもかわいらしいです。まだ歩かない子どももレジャーシートの上で遊んだりベビーカーに乗ると、



周りをキョロキョロ見て景色を楽しんでいます。砂場では砂まみれになるまで遊び、「お片付けだよ」と伝えると泣いて嫌だと訴える子どももいるくらいたくさん遊んでいます。これからも季節の移り変わりを子どもたちと感じながらお外で遊んでいきたいと思います。

